



JDSF通信

2022
3月
March

3/13日(日)の業務執行理事会、20日(日)の定例理事会の概要についてお知らせします。

事務局より

3/20(日)2021年度定例理事会開催のご報告について

Web会議との併用にて16名の理事、3名の監事に出席いただき、すべての議案が承認されました。 ※貸会議室を拠点



中井眞一郎代表理事・会長の辞任に伴い、後任に布村幸彦理事が全会一致で選定されました。中井前会長は会賓に、また、太田順康(まさやす)北辰商事株式会社代表取締役社長を顧問に選任することについて異議なく承認されました。※第8号議案の2022年度事業計画については別添の総括をご覧ください。

議案	内容
第1号議案	中井眞一郎代表理事及び理事辞任承認の件
第2号議案	代表理事選定の件
第3号議案	2021年度業務執行状況の報告と承認の件
第4号議案	NTT有明事務所とDTC復活の件
第5号議案	謝金支給規程改正の件
第6号議案	会賓及び名誉役員選任の件
第7号議案	特定費用準備資金保有の件
第8号議案	2022年度事業計画・収支予算の件
第9号議案	今後の理事会と総会日程について

新会長布村幸彦氏より

本日の理事会で中井会長の後を受けました形で代表理事就任のご依頼がありましたので謹んでお受けさせていただきたいと思います。今後の日本ダンススポーツ連盟の競技の発展、幅広い方々に向けて、微力ながらその振興に尽くさせていただければと思います。学生時代に「ダンパ」に多少参加するなど、社交ダンスの習い事をしたレベルではありますが、パリ五輪ではプレイキンが新種目として採用されていますので、プレイキン部門の方々は今から選手強化にご尽力いただければと思います。また社交ダンスのダンススポーツ競技の普及の面でも本日、幅広く計画、事業報告等をいただけるという事で、今後、競技会へも積極的に足を運びたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。 ※JDSFホームページの役員名簿を更新しております。



新会長布村幸彦氏

〈定時総会日程について〉 2022年6月26日(日)14時～ 主な議案: 2021年度事業報告及び収支報告の承認の件

ウクライナ支援について



現在2名のウクライナ選手がJDSFの登録選手として活躍しています。理事会冒頭、太田吏佳子理事より、既に一部で支援が行われている事へのお礼とさらなる協力をお願いメッセージが紹介され、本理事会でウクライナ選手とウクライナへの募金活動を全国の会員へ呼びかけていくことについて承認しました。詳細については、準備が整い次第ご案内いたしますので、都道府県連盟の皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

西部(近畿中四国)ブロック運営委員長交代について

2022年3月末日をもって、西部(近畿中四国)ブロック運営委員長 天道貞一氏(大阪府ダンススポーツ連盟会長)に代わり、4月1日より新委員長として、谷口主嘉氏(たにぐちかずよし)(京都府ダンススポーツ連盟会長)が就任予定です。

選手強化本部

第17回オールジャパン・ジュニアダンススポーツカップ2022in東京開催について

コロナ禍の状況により不確定な部分はありますが、2年連続で開催中止となりジュニア層のモチベーション低下が憂慮されるため、2022年度は開催の方向で検討していくこととなりました。

- 〈種 目〉 第1日 ソロ競技、チャイルドダンス(マンボ及びチャチャチャ)、小学4年以下(サルサ及びメレンゲ)
第2日 ユース、ジュニア、ジュブナイル、女子高校生、女子中学生、小学生4～6年、小学生1～3年

資格試験制度委員会

2022年度PD3及びPD4資格試験の実施について

【試験区分】 PD3資格試験、PD4資格試験

【実施日程】〈講習会〉 1日目 2022年7月28日(木) 9:30～17:00 (受付9:15)

2日目 2022年7月29日(金) 9:30～17:00 (受付9:15)

※状況により、中止又は延期若しくはオンラインに変更する場合があります。

〈試 験〉 2022年9月29日(木) 9:30～17:00予定 (受付9:15)

※状況により、延期若しくは会場変更になる場合があります。

【試験会場】 新宿区立四谷スポーツスクエア 多目的ホール(B2F)
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4



【受験費用】PD4受験料20,000円、PD3受験料40,000円 (いずれも講習会費用を含む)

【募集人員】PD3、PD4 各15名

【募集期間】2022年6月15日(水)まで

2022 年度事業計画

総 括

新型コロナ問題の状況に適切に対応しつつ、引き続き費用削減努力とコスト効果を重視した事業展開を行う。また、今後の V 字回復に向けてマーケティング活動に注力するとともに、関係団体・企業などとのコラボレーションや、メディア露出も含めたダンススポーツの普及と価値向上に努める。

特にパリ五輪に向けた準備や国体参加準備を行う。重点施策を以下の通りとする。

1. 経営力の強化

- (1) 連盟としての提供価値の見直しを行い、パートナー企業等との協創によるマネタイズの可能性など、マーケティング活動に注力
- (2) 連盟運営の高度化に向けて、専門能力を有する人材の確保
- (3) コンプライアンス教育について、指導員、審判員、選手に対しても実施
- (4) 加盟団体におけるガバナンス&コンプライアンス体制についての啓蒙と助言
- (5) コロナ問題の収束を見極めた時点で、環境変化を織り込んだ内容による中長期計画の見直し

2. オリンピック参加と競技力向上(ブレイキン種目)

- (1) 昨年度に策定したオリンピックに向けたロードマップを着実に実施
- (2) コーチ設置事業による選手強化事業の本格化
- (3) 世界連盟への貢献による発言力の強化
- (4) 国際ランキング競技会の日本招致
- (5) 全国の都道府県連盟における県大会等の準備

3. 国体参加等を目指す活動

- (1) 地域活動の活発化 (ブレイキン、スタンダード、ラテン)
- (2) クロスジャンル・ダンス指導メソッドの具体的検討と小中高地域活動の準備
- (3) 日本スポーツマスターズ 2022 岩手大会記念事業に積極参加

4. ダンス人口の高齢化傾向対策と組織変革活動(スタンダード・ラテン)

- (1) 中高年の愛好者を含めたデジタル・コミュニティの整備
- (2) 若年層をターゲットとした事業と若年層に対応できる組織改革

5. コロナ後に向けた準備

- (1) コロナ対応で一時放棄した DTC の復活に向けた準備
- (2) 主催競技会の回数増加に対応した事務システムの準備
- (3) 事務局の強化

6. 創立 45 周年記念式典

国体参加活動の第 2 段階の意識合わせを兼ね、コスト最小での記念式典を実施する。

7. 定常的な事業の確実な実施

その他、定常的な事業について、コロナ問題に適切に対応しつつ、コスト効果を優先して実施する。